

「課題解決型高度医療人材養成プログラム」における工程表

申請担当大学名	千葉大学
連携大学名	—
事業名	病院経営スペシャリスト養成プログラム

① 本事業終了後の達成目標

本事業終了後の達成目標	
達成目標	<p>千葉大学病院において新たに「病院経営スペシャリスト養成プログラム」を履修証明制度を活用して開発し、今後の病院経営を担う医療人材を育成・輩出することを目標とする。これらを通じて、大学病院の将来を担う経営幹部候補の育成、地域における病院経営の安定化、地域医療の質向上にも寄与することが期待される。</p> <p>具体には、千葉大学病院に病院経営に関するリテラシーを持った医師が増加することにより、院内で病院経営に関する理解が進み、より効率的な病院運営が可能な体制が構築されること、千葉県内の関連病院を中心に、本プログラム修了者が各病院に所属することにより、地域の病院経営の向上や医療提供体制の向上につながることを期待される。</p>

② 年度別のインプット・プロセス、アウトプット、アウトカム

		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
インプット ・ プロセス (投入、 入力、 活動、 行動)	定量的なもの	・プログラム開発のための会議を月1回以上実施	・病院経営スペシャリスト養成プログラム受講生受入れ(10名) ・セミナー・シンポジウムを年1回以上開催	・病院経営スペシャリスト養成プログラム受講生受入れ(10名) ・セミナー・シンポジウムを年1回以上開催	・病院経営スペシャリスト養成プログラム受講生受入れ(10名) ・セミナー・シンポジウムを年1回以上開催	・病院経営スペシャリスト養成プログラム受講生受入れ(10名) ・セミナー・シンポジウムを年1回以上開催
	定性的なもの	・プログラム運営委員会の設置 ・プログラム開発に係る打合せ等を実施 ・カリキュラム、教材等の開発 ・授業の試行的実施 ・プログラムの広報活動	・病院経営スペシャリスト養成プログラム開講 ・コンピテンシー評価の実施 ・プログラムのアンケート実施	・病院経営スペシャリスト養成プログラム開講 ・コンピテンシー評価の実施 ・プログラムのアンケート実施 ・遠隔授業やVTRIによるフォローアップ授業等の実施に向けた検討	・病院経営スペシャリスト養成プログラム開講 ・コンピテンシー評価の実施 ・プログラムのアンケート実施	・病院経営スペシャリスト養成プログラム開講 ・コンピテンシー評価の実施 ・プログラムのアンケート実施
アウトプット (結果、 出力)	定量的なもの	・プログラム開講科目の開発(10科目)	・病院経営スペシャリスト養成プログラム修了者の輩出(10名) ・セミナー・シンポジウムの参加者50名以上	・病院経営スペシャリスト養成プログラム修了者の輩出(10名) ・セミナー・シンポジウムの参加者50名以上	・病院経営スペシャリスト養成プログラム修了者の輩出(10名) ・セミナー・シンポジウムの参加者50名以上	・病院経営スペシャリスト養成プログラム修了者の輩出(10名) ・セミナー・シンポジウムの参加者50名以上
	定性的なもの	・病院経営スペシャリスト養成プログラムの開発 ・専用ホームページの開設 ・パンフレット等の作成・発信		・同窓会組織の発足 ・病院経営に資する刊行物の発行	・同窓会実施	・同窓会の実施
アウトカム (成果、 効果)	定量的なもの	・プログラム受講応募者10人以上	・プログラム受講応募者10人以上 ・受講者あたり平均50%以上のコンピテンシー項目向上	・プログラム受講応募者10人以上 ・受講者あたり平均50%以上のコンピテンシー項目向上	・プログラム受講応募者10人以上 ・受講者あたり平均50%以上のコンピテンシー項目向上	・プログラム受講応募者10人以上 ・受講者あたり平均50%以上のコンピテンシー項目向上 ・千葉県内や千葉大学関連病院における病院経営人材の増加
	定性的なもの		・アンケートに基づいたプログラムの改善	・アンケートに基づいたプログラムの改善	・アンケートに基づいたプログラムの改善 ・同窓会ネットワークの形成	・アンケートに基づいたプログラムの改善 ・大学病院や千葉大学関連病院の病院経営の向上

③ 推進委員会所見に対する対応方針

要望事項	内容	対応方針
①	事業の実施に当たっては、学長、病院長等のリーダーシップの下、責任体制を明確にした上で全学的な実施体制で行うこと。また、事業期間終了後も各大学において、長期的な展望に基づく具体的な事業継続の方針・考え方について検討し、自立化した事業体制を構築すること。	病院長、副病院長(経営戦略担当)がプログラムディレクターとしてプログラム運営を主導するとともに、プログラムを確実に実施するために、病院長の直下に「プログラム運営委員会(仮称)」を設置し、管理・運営を行う。 また、本学の規定による履修証明制度を活用し、受講料を徴収することで段階的にプログラム運営の自立化を進めるとともに、補助事業期間中に実績・成果をあげることで、優れたプログラムとしての定着を図る。
②	自己点検・評価や外部評価を実施し、事業の改善を行いつつ、全国の模範となる体系的な教育プログラムを展開すること。その際、受講しやすい環境整備に配慮するとともに、修了者のキャリアパス形成につながる体制を構築すること。	本プログラムの進捗管理や評価については、「プログラム運営委員会(仮称)」で実施するとともに、外部評価の機能として、千葉大学関連病院会議(加盟92施設)においても進捗報告を実施する。 本プログラム開講にあたり、医師等が働きながら学習可能な体制として、平日夜間や土日の開講とともに、eラーニング教材の活用などを計画している。また、同窓会組織や「病院経営スペシャリスト」の称号付与などキャリア形成にも留意する。
③	事業の実施状況や成果等を可能な限り可視化した上で、地域や社会に対して分かりやすく情報発信するとともに、構築した教育プログラムの他大学・大学病院への普及に努めること。	本プログラムの履修者数、授業アンケート、コンピテンシー評価などにより、実施状況や成果等を確認するとともに、プログラム運営委員会(仮称)や千葉大学関連病院会議などを通じて広く社会に対して情報発信する。 また、企業等とも連携し、本プログラムの教育内容のeラーニング化など、その内容やノウハウを蓄積し、他大学等でも活用できる仕組みについて検討する。

④ 推進委員会からの主なコメントに対する対応方針

推進委員会からの主なコメント(充実を要する点)	対応方針
企業との連携内容や技術的な点に終始していることから、企業人の思考過程を取り入れるような連携を模索するとさらに実効性が高められる。	企業との連携において、eラーニング等の技術的な観点での連携を主にしているが、カリキュラム構成の検討といったソフト面でのサポート支援についても協議していきたい。
病院経営支援という観点から、経営系の科目(組織論、管理会計等)の更なる充実を図ることが望ましい。	開講予定科目「医療経営学」の中に一般の経営学の要素についても組み込むことを検討する。また、組織論などの経営系カリキュラムの要素については、今後のカリキュラムの具体化の中で社会的なニーズも踏まえつつ、検討していきたい。
達成目標とは別に、質的・量的ともに具体的な評価指標を加えるなど、改善の余地がある。	質的・量的な目標を新設することを検討する。具体的には、シンポジウムやセミナーの実施では、参加者数50名以上を目標とすること、コンピテンシー評価では、8つのコンピテンシーを設定し、受講生の質を確認するため、事前と事後評価で平均50%以上の項目で向上を目指したい。